

ふれあい看護体験

8月1日(水)「ふれあい看護体験」を実施しました。これは、高校生を対象に看護体験や施設見学を通して、看護に関心と理解を深めてもらう看護の心普及事業の一環です。徳島市内の高校生48名(女子43名、男子5名)の参加があり、各病棟で看護師とともに洗髪や足浴の介助、血圧測定などの看護体験、手術室などの病院見学を行いました。患者さんとのコミュニケーションは緊張したようですが、患者さんからの「ありがとう」の言葉に、喜びややりがいを感じる事ができたようです。

体験を終えて「患者さんとの会話では細かいところに気遣いが必要ということがわかった」「看護師になりたい気持ちが強まった、勉強をがんばって夢を叶えたい」などの感想がありました。学生一人一人が、看護職に関心を深め、将来像について考える一日になりました。



医療技術職の職場体験2018

8月21日(火)、高校生を対象に医療技術職員の仕事を知らせてもらうことを目的とした「徳島大学病院医療技術職員職場体験」を開催しました。7班に分かれて臨床検査技術部門、診療放射線技術部門、臨床工学技術部門、リハビリテーション部門、視能訓練部、歯科医療技術部門技工室、歯科衛生室を見学しました。参加者は、採血シミュレーターを使った採血や、専用器具を使用したリハビリなど、いろいろな医療技術職員の仕事を体験し、普段は入ることができない最先端の医療現場を真剣に見学していました。



ミュージックセラピーを開催

6月28日(木)、外来診療棟1階アメニティテラスでジャズピアニストの瀬部妙子さんとフルート奏者の稲垣香織さんを迎え、ミュージックセラピーを開催しました。

途中から、本院消化器内科・上田医師によるトランペットと徳島県立中央病院・林医師によるドラムも加わり、聴衆の皆さんに楽しいひとときを過ごしていただけたようでした。



院内阿波踊り

8月10日(金)、院内阿波踊りが開催されました。栄養学連、あゆみの森保育園児が登場すると、会場からは大きな拍手が起こりました。篠笛の演奏にのせて会場のみなさんが「われは海の子」「手のひらを太陽に」を合唱した後、「崖の上のポニョ」の曲に合わせてあゆみの森保育園児と徳島大学の Mascot キャラクター「とくぼん」が一緒に踊り、会場を楽しませてくれました。

